

# 令和4年度 はばたきの郷 八王子自立ホーム事業報告

令和5年3月31日 現在

## I 総括

### 1 新型コロナウイルス感染症対策

コロナ禍での施設運営は、3年目となった。この間、国内での著しい感染拡大は「第8波」を数えていたが、政府により、令和5年3月からのマスク着用の緩和、5月には5類相当感染症への移行の方向性が示されている。しかしながら、ウイルスの脅威がなくなったわけではないこと、利用者の重症化リスクが高い入所施設として、引き続き感染症の動向を注視し、予防対策を継続する方向である。

政府による「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」は今年度4月以降は発令されていないものの、令和4年度はウイルス変異株による感染者数の増加により、ホーム関係者でも感染し発症したケースがある。

八王子自立ホームとしては「利用者、職員の生命と健康とともにその生活と権利を守り、感染者を一人も出さないこと」を掲げ、感染防止対策への取り組みを継続している。利用者の生活や健康状態を加味し、外出や面会等を最小限に控えるなど取り組む一方、必要に応じてPCR検査や抗原検査、ワクチン接種などを実施し、日常的に利用者、職員の健康状態を把握することに努めている。

今年度は、利用者における発症の事例はなかった。職員(厨房業者含む)については13件13名(3月末現在)の陽性者が確認されたものの、他の利用者職員等への感染が広がるような状況とはならなかった。なお、職員の家族等が感染または濃厚接触者になるなどした場合も含め、自宅待機を行う等の対応を実施した。

### 2 はばたきの郷 八王子自立ホームの運営

「はばたきの郷 八王子自立ホーム」は、その前身である“ケア付住宅”としての「東京都八王子自立ホーム」から2014(平成26)年4月に「障害者総合支援法」に基づく「障害者支援施設」として発展的に築き上げられてきた「重度の身体障がい者」を中心とした生活支援施設である。

その施設の運営管理にあたっては、1976(昭和51)年に「全国身体障害者療護施設協議会」(現在の「全国身体障害者施設協議会」)が制定している倫理綱領を踏まえて、「障害者の権利に関する条約」の理念を遵守すると共に、「最も援助を必要とする最後の一人の尊重」「可能性の限りない追求」「共に生きる社会の構築」を目指して、「磨く」「食べる」「生きる」といった「はばたきの郷 八王子自立ホーム」の基本理念を実現するため、2014(平成26)年5月22日に職員倫理綱領を策定し取り組んできた。

#### 〔「障がい者支援施設」の運営と利用者支援〕

利用者への援助支援にあたっては「障害者総合支援法」に基づくサービスの提供を行うと共に、これまでの自立ホームの取り組みを基礎に、利用者の個々の状況に応じた援助と支援を行うことに努めた。

利用者の「高齢化」「障がいの重度化」「要医療ケア化」の課題への取り組みとして、利用者のライフステージにおける、より症状が進んだ状態を想定し、利用者のご家族等との関わりや、自立ホームとご家族が連携して行う支援体制として「協働支援」を構築し、取り組んでいる。(令和4年度は2件2名の利用者に実施。)

また、協力医療機関との連携を強化し、訪問診療による「施設入居時等医学総合管理」を適用した、夜間休日等の連絡体制を導入した。(令和4年10月より実施。)

### (1) サービス別 利用者の状況

#### [ 施設入所支援 : 定員 30 名 ]

令和5年3月31日 時点での入所利用者 28名 (男性14名、女性14名)

年間の平均利用率 90.7%

- ・入所利用者の中に入院を要したケースは (6件6名)
- ・5月に女性1名が入所
- ・8月に男性1名が退所 (入院加療が長期となり退院が見込めないため)
- ・9月に男性1名が退所 (入院加療が長期となり退院が見込めないため)
- ・10月に女性1名が退所 (搬送先の医療機関で死去)
- ・1月に男性1名が退所 (介護保険を利用し、在宅へ戻る)

#### [ 生活介護 (通所含) : 定員 35 名 (入所利用 30 名 通所利用 5 名) ]

入所利用の30名に加え通所利用として1日あたり5名の枠で実施した。

年間の平均利用率 83.7%

#### [ 短期入所 : 定員 1 床 および 空床利用短期入所 3 床 ]

年間の平均利用率 71.4%

通所利用、短期入所の受入れについては、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置期間、ホーム関係者の陽性(疑)者発生に伴う健康観察期間は外部からの受入れを控えたものの、その他は昨年度を上回る利用者を受け入れることができた。

### (2) 利用者の障がい状況 (次ページ表参照)

利用者の障がい状況では、加齢とともに身体状況が変化し、機能低下とともに生活習慣や介助方法、支援内容を見直すようにしている。

利用者の健康診断を5月に実施した。利用者個々の状況では、年齢的な衰えも加わり、身体機能の低下などが進行している状況もみられる。特に、誤嚥性肺炎、季節の変わり目等に長期にわたって体調を崩す、入院加療を要するケースも見られている。

### (3) 利用者の生活と日中活動

日中活動では、新型コロナウイルス感染予防対策に取り組みながら活動する一方、外出を伴う活動、大規模行事は縮小や自粛することを継続している。

陶芸クラブや絵画クラブ、パソコン・カメラクラブ、リラックスタイムなどは、「3密」を避け、方法を工夫しながら実施してきた。

旅行行事は自粛を余儀なくされているが、旅行会社の企画を利用した「いちご狩り」体験企画を5月に実施し好評を得た。

また、訪問理美容（毎月第1水曜）や訪問販売（6月・11月）など、外部のサービスを利用して、内部での活動を充実させてきた。

ホームの日中活動の様子を展示した「はばたき展」を3月に開催した。

利用者の自主活動である生活向上委員会の取り組みでは、「多くの利用者が参加できるように」と定期的に会議をもち、全体会議での意見交換に臨んだ。また、利用者向けの研修（学習会）の実施に努めてきた。

#### (4) 支援の体制

職員体制（組織体制、利用者への支援体制）では、昨年度に引き続き、利用者支援のグループ担当制や各種委員会、プロジェクトチームの活動など利用者支援の充実に向けて取り組んできた。

#### 参考 利用者・職員の状況(表) (令和5年3月31日現在)

##### 入所利用者の状況（施設入所・生活介護）

性別	人数	障がい（基礎疾患）状況
男性	14	・脳性麻痺 8人 ・脊髄疾患 1人 ・難病（筋ジス）1人 ・脳梗塞 1人 ・小脳失調1人 ヘルペス脳炎1人 [障害支援区分 6(13人) 5(1人)]
女性	14	・脳性麻痺 8人 ・脳血管1人 ・外傷（頭部外傷, 身体欠損）3人 ・難病 2人(進行性筋萎縮 1人・レクリンゲル病1人) [障害支援区分 6(11人) 5(3人)]
合計	28	平均年齢 (59.1歳) 平均障害支援区分 (5.86)

【手帳の状況】	男性	女性	計
「身障」のみ	10	8	18
「身障」「愛」	3	4	7
「身障」「精神」		2	2
「身障」「愛」「精神」	1		1
計	14	14	28

【身障手帳】	男性	女性	計
1級	11	11	22
2級	4	2	6
計	17	12	28

##### 通所利用者登録者の状況（通所 生活介護）

性別	人数	障がい（基礎疾患）状況
男性	4	脊髄損傷 1名 頸椎損傷 1名 脳性麻痺 1名 難病(筋ジス) 1名 [障害支援区分 6(3名) 4(1人)]
女性	2	脳性麻痺 2名 [障害支援区分 6(1人) 5(1人)]
合計		平均年齢 (40.1歳) 平均障害支援区分 (5.5)

短期入所利用登録者の状況（短期入所）

性別	人数	障がい（基礎疾患）状況
男性	4	脳性麻痺 3名 脳挫傷 1名 [障害支援区分 6 (4人)]
女性	3	脳性麻痺 2名 二分脊椎 1名 [障害支援区分 6 (人)]
合計	7	平均年齢 ( 44.2 歳) 平均障害支援区分 ( 6.0 )

職種別職員数（令和5年3月31日現在）

形態	職種	施設長	事務員	サービス 管理責任者	生活 支援員	作業・理学 療法士	看護師	その他	嘱託医	合計
		職員	常勤	1	3	※3(2)	25			
	非常勤・パート		1			2	1	8		12
嘱託	常勤				3		3			6
	非常勤								1	1
	合計	1	4	1(2)	28	2	4	8	1	49人

※登録しているサービス管理責任者3名のうち2名は生活支援員と兼務。表ではサビ管1生活支援員2でカウントした。

令和4年度の職員の入退職状況

	前年度末	採用数	退職者数	令和4年度末	離職率
令和4年度	46	13	10	49	21.7

生活支援員の有資格者人数 : 生活支援員28名中21名（うち令和4年3月介護福祉士合格者3名）

## II 個別報告

〔利用者の生活を支える援助〕（表1参照）

### 1 『住むこと(就寝起床・トイレ・入浴・生活環境の整備・食事など、生活の基盤となる援助)』

#### ① 就寝・起床

深夜の援助は、トイレ介助（オムツ交換含む）や寝返りの援助が主である。現在、就寝・起床を含め、就寝前に援助を要する利用者は32名（※短期利用者含む）、うち深夜に排泄や寝返りなどの対応を常に必要とする人は18名である。身体機能の低下、褥瘡予防、障がいの二次的な症状(痛みの緩和)への対応など個々の状況に応じた対応を行う。

夜間、特段の対応がない方も含め、安全確認等のための定時巡回を行っている。

#### ② トイレの援助

利用者個々の実態に即し、それぞれの利用者の要請に応じて対応する。

留置カテーテルを使用する方、定時のトイレ誘導をする方、オムツ交換を要する方がいる。年齢とともに、泌尿器の機能が低下している状況があり、尿路感染などの症状もみられる。主治医や往診医を定期的に受診し、日常生活では気温や季節の変化、水分補給量などに努めながら、援助に入るようにしている。

衛生用品は、尿とりパットや防水シート、清拭用使い捨てタオル、オムツ、リハビリパンツをホームから提供している。

### ③ 健康入浴

週3回(月・水・金)を基本に実施している。入浴前の健康チェック、体調確認から入浴後のケア(水分補給、薬塗りなど)も含めて一連の支援を行う。

利用者は各自週2~3回の入浴援助を設定している。入浴は健康を維持する上で重要な要素との認識で取り組んでいる。

利用者個々の身体状況に合わせて入浴方法を調整し、機械浴、チェア浴、介護浴の活用、湯温や浴室温度の環境調整にも配慮しながら、気持ちよく入浴ができるよう取り組んでいる。

### ④ 生活環境の整備

居室清掃(各室週1回)は基本となる水回りや床の清掃を中心に、平日午前中に集約して実施した。細かな片付けや個別の内容は利用者の予定にあわせて実施した。

共用部分は、敷地内の環境整備も含め、担当職員による実施の他、業者による定期清掃で実施している。

### ⑤ 健康管理

医務室を中心に利用者の日常的な健康相談や体調管理を行っている。体調不良になった利用者を早期に発見し、適切な医療機関につなげられるよう取り組んでいる。

利用者の健康診断を5月に実施した。(立川中央病院附属健診クリニック 巡回健診)

日常的には、月一回の体重測定、定時の水分補給、食事状態などを定期的にチェックし健康管理の指標としている。また、利用者、職員による全体研修(ミニ研修)の機会を毎月1回設け、健康管理に関わる学習会を実施した。

職員の健康診断を8月に実施した。(八王子健康管理センター 検診車)

### ⑥ 通院

「東京都八王子自立ホーム」の創立時より、嘱託医としてご尽力いただいた菊地外科医院(菊地直知医師)が令和4年8月に逝去され、同院の閉院に伴い、嘱託医を退任された。

令和4年9月より、医療法人社団永生会 クリニックO(ゼロ)と嘱託医契約を結び、知野俊博医師(令和4年9月~令和5年3月)が嘱託医として着任した。

通院に付き添いを要する場合や日常的な医療的ケア(薬塗り等)については、診断医の指示に基づき、看護師や生活支援員による対応で行っている。利用者の急な体調の変化や緊急時は、嘱託医及び協力医療機関への通院等で対応している。

医療機関の選定等を含めて利用者自身の取組みで通院しているケースもある。

<主な通院医療機関> 菊地外科医院(外科・内科※嘱託医) クリニックグリーンガラス(訪問診療医) 中野間クリニック(泌尿器科※往診医) あじさい歯科(歯科※協力医療機関) 八王子市障害者歯科診療(身障歯科) 駒木野病院 恩方病院(精神科) 相武病院(脳神経内科) 加藤耳鼻科(耳鼻科) 他

### ⑦ 相談支援

利用者個々の状況に応じ、相談や手続き、連絡調整、助言、代筆等を行った。

(主な相談内容)

福祉機器(補装具や日常生活用具など)の購入・修理 : 各業者

制度や手続きに関すること : 東京都、各実施機関、各相談支援事業所 など

書類作成など : ご家族(身元引受人)、法定代理人 など

## ⑧ 協働支援

利用者のライフステージにおいて、より症状が進んだ状態を想定し、利用者ご家族等との関わりや施設が連携して行う支援体制として「協働支援」を構築し取り組んでいる。令和4年度は2名の利用者のケースについて計画を作成し、実施している。

### 〈協働支援〉

- ・本人の心身の状態に応じて、「本人の思い」「家族の思い」を生活支援に反映する
- ・ご本人の心身の状態、生活の状態、医療面での治療方針などを共有し、ご家族等が一定の範囲で本人のホームでの生活支援に関わる状態を想定する。
- ・具体的な内容は、本人及び関係者、自立ホームとで協働支援に関わる計画書を作成し実施する。

## 2 『たべること（食生活）』

食事サービスは、富士産業株式会社に業務委託し、1日3食365日の提供を行っている。食事に関する入所利用者からの意見は、定例の食事委員会（月1回）で集約したほか、日常的に出される意見、要望に迅速に対応できるよう取り組んだ。

利用者の食事については、医師からの食事指導のある方、嚥下困難への対応、体調不良時の食事、代替食等、食事形態の変更については、個別状況に応じた提供を行っている。（食事形態：通常食、刻み、ソフト食、ミキサー・ペースト 他）

また、利用者の健康状態に応じて、適時の水分補給（水分、水分ゼリー）に努めるとともに、低栄養状態については、医師から処方された栄養補助剤（エンシェア、イノラスなど）をソフト食やペースト状に加工して提供し、体調管理に努めている。

食事委員会では、メニュー構成や食事形態、嗜好などについて様々な意見が出され、季節の食事会のメニュー構成を話し合うなど、利用者の参加の機会とした。

また、利用者への食事提供の状態を把握し、より具体的かつ適切な提供を行うため、委託業者・生活支援・医務・事務の代表者で構成する「厨房事務連絡会」を毎月1回、定期に開催し取り組んできた。

### [ 厨房業務委託事業者の選定 ]

厨房業務委託事業者の契約期間満了に伴う、令和5年4月以降の委託業者について、厨房業務委託事業者選定委員会を開催した。（令和4年4月～7月）選定委員会は職員、利用者の代表者から構成し、提案内容についてのヒアリングや試食会を実施し、常食はもとよりソフト食の内容についてはより多くの意見が出されていた。

令和5年4月からの厨房業者として『一富士フードサービス株式会社』を選定した。

## 3 個々の生活の充実と共同活動（表3参照）

### （1）各種会議

援助拡大会議（月1回）をはじめ利用者および職員による全体会議（年2回）を行い、日常生活や援助の様々な問題について話し合った。情報提供や報告、日中活動（行事

等)に関する内容が中心となった。全体での意見をまとめ、共通の認識が得られるよう努めた。

また、会議の冒頭に全体でのミニ研修(健康や生活に関する学習会)を実施した。

## (2) 各種委員会

施設の運営管理について組織的に対応することを目的に下記の各種委員会を設置して活動を行った。

### ○ 生活向上委員会

利用者の代表幹事が中心となり、利用者の要望や意見を取りまとめ、援助拡大会議での提案や報告を行った。

### ○ 環境委員会・感染委員会

環境委員会では建物の維持管理について、日常の清掃や環境整備に取り組んでいる。感染環境委員会では、新型コロナウイルス感染症発生防止に向けた取り組みをはじめ、インフルエンザ等の流行時期を中心に、年間を通して、感染症対策の注意喚起および館内の環境整備に取り組んだ。

### ○ 広報委員会

防災委員会からの「防災だより」、八王子自立ホームの「ホームページ」の更新、行事などでの記録(写真や動画)を行った。

広報誌「はばたき」は自立ホームの様子を情報発信する媒体として、利用者ご家族様や関係者様、地域の皆様へ郵送した。(年間で5月、8月、10月に発行)

### ○ 陶芸委員会

外部講師を依頼した陶芸クラブを、週に1回のペースで開催している。

陶芸窯の使用にあたっての管理、粘土、釉薬等の管理などを行った。

今年度は利用者の作品発表の機会として、個人作品の一般公募展「花の器コンテスト」への出品、外部の作品展「ふれあい文化展」への展示、施設内での「はばたき展」にて展示を行った。

### ○ 防災委員会

利用者、職員の災害に対する意識を高め、毎月の訓練を計画し、実施した。

自立ホーム総合防災訓練を7月28日に実施した。また、3月に行われた電気設備工事に伴う停電を活用した防災体験等を実施した。

### ○ 食事委員会 ※前述参照

### ○ 日中活動委員会

各企画に実行委員を配置し、活動を企画した。

新型コロナウイルス感染予防対策として、実施方法や内容を工夫している。

## ○ 事故等防止委員会

利用者の援助場面や自立ホームの運営場面において日常的に気付いた事柄を「ヒヤリハット報告書」(気づきのレポート)として書き出し、報告することを通して事故防止に努めている。これらの内容は主任会議(兼事故等防止委員会)や援助会議等で議論し、事故防止や、援助・支援の場面に反映している。

## (3) 運動活動

利用者の運動活動は「個別運動計画書」に基づき実施した。日常の運動活動としては毎週火、木曜日を中心に活動し、内容は、個々の計画書に基づく立位運動、ストレッチ、機能維持の運動等である。

作業療法士は毎週木曜日に配置し、個別運動を実施しているが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、外部医療機関に出入りのある OT による施術は状況を見ながらの勤務としている。

利用者の嚥下機能低下の予防、改善を目的として、口腔体操・口腔ケアに取り組んでいる。毎日 11 時 30 分から、看護師または生活支援員の声掛けで、利用者全員を対象とした口腔体操を実施している。また、毎食後の口腔ケアを徹底することにより虫歯予防、歯周病対策等にも取り組んでいる。

## (4) テーマ別日中活動

年間計画に基づき毎月の活動日を設定しながら、以下の活動を実施した。

- ① 外出企画 : 新型コロナウイルス感染予防のため、4 月以降は実施を見送っている
- ② 洋裁クラブ : ミシン裁縫、洋裁を実施。
- ③ ボッチャ活動 : 外部の体育施設を利用して、「ボッチャ」に取り組んでいる。
- ④ 陶芸クラブ (月 4~5 回) : 外部講師(陶芸家)による陶芸教室を開催
- ⑤ おしゃべりカフェ (月 1 回) ※飲食を伴うため、代替企画(映画鑑賞)などで実施
- ⑥ 写真部 : 行事や活動の記録(写真・動画)と整理、行事などでの展示を予定。
- ⑦ 絵画クラブ : 絵やプラモデルなど、個人の作業に没頭できる機会となった。
- ⑧ 音楽クラブ : 3 密を避け、現在は実施を見送っている。
- ⑨ 訪問販売 : 6 月、10 月に、ホームを会場に販売業者による即売会を実施
- ⑩ 訪問理美容 : 毎月第 1 水曜日に来所。毎回 10 名程度の利用がある。
- ⑪ 市民センター等を活用した日中活動 : 床清掃等でホーム内のスペースが使用できない場合等、外部の資源を活用した活動を企画し実施した。

## (5) リラックス活動タイム

利用者が日中、居室でポツンとすごされている状態をなくすこと、寝たきりや褥瘡を予防することを目的として取り組んでいる。利用者同士の交流、軽い運動活動、テレビ視聴、入浴の順番待ち、水分補給などを月、水、金、土日も含め実施した。なお、活動内容を充実させるため、作品づくりなどの企画も展開している。

## (6) 行事 (季節の行事) (表 3 参照)

新型コロナウイルス感染予防のため、年間計画で予定したもののうち、「旅行行事」や「大規模行事」の実施、「地域行事」への参加などは見送った。

「旅行行事」の代替としては、旅行業者の協力により、現地の農園から出張した



果物狩りを自立ホームに再現した「いちご狩り」（5月）を実施した。

内部行事では、例年行っている総合防災訓練は1日の短縮日程で実施した。

食事では「全国うまいものめぐり」の企画を通年企画として実施している。

12月に予定していた「家族連絡会」については、都内の新型コロナの感染状況を考慮し実施を見合わせたが、ご家族の皆様へのメッセージカードの送付（希望者のみ）など代替企画を実施した。

3月下旬に作品展『はばたき展』を実施した。（令和5年3月27日（月）～4月10日（月）まで）。各クラブ活動や日中活動、デイサービスでの作品を展示するとともに、一部作品等の販売（ミニバザー）という内容で企画した。

#### 4 通所利用（生活介護）

通所利用者のニーズは、入浴や食事、運動活動が主なものであり、また、主たる介護者の負担軽減やレスパイトでの利用もある。週単位で定期的な利用計画となっており、今後も継続利用を希望されている。

新規利用について外部からの問合せもあり、随時見学や面談を実施した。医療ケアを要する方、障がい状況が重度の方も少なくない。そうした中でも、ホームでの入浴や食事サービスを活用しながら在宅での生活を組み立てている様子もみられた。

特別支援学校（高等部）からの実習受入れでは、通所利用を体験した生徒が令和5年4月からの新規利用につながったケースがある。

#### 5 短期入所（短期入所）

新型コロナウイルス感染症予防対策の影響はあるものの、リピーターで毎月利用する方も増えている。下半期では空床利用の短期入所も活用できた。

利用者の状況は、夜間帯のみの利用、自宅の改修工事や家族（介護者）の状況による短期入所利用などの事例があり、年間を通じて様々な利用者を受け入れてきた。

なお、短期入所を利用したことから、その後の通所利用につながったケースもみられた。

#### 6 建物管理（表2参照）

建物管理については、改築後の使用開始から8年目となり、各設備の消耗品の故障や交換の事例（居室や共用部の建具修繕、給湯ミキシング等の交換、ナースコール PHS 端末の修繕等）が出ている。大規模な工事としては、厨房設備レイアウト変更工事（3月）、東京都のBCP補助金を活用した「太陽光パネル発電設備設置工事」（3月）を実施し、新規設備の導入を行った。既存設備のメンテナンスでは経年劣化による部品交換等の事例（GHP空調設備）が複数発生している。

#### 7 防災（表3参照）

防災訓練（自主訓練）を、事業計画に基づいて毎月実施し、防災委員会より「防災だより」を定期的に発行し情報提供や防災意識の啓発を行っている。7月28日には、恒例の「自立ホーム総合防災訓練」を短縮日程（1日間）で実施した。

また、3月に行われた電気設備工事に伴う停電を活用した防災体験等を実施した。

## 8 研修・見学（表3、4参照）

### （1）利用者を対象とした研修

利用者の生活向上を図り、日常生活に関わる内容で設定した。主に、毎月の援助拡大会議の時間に全体研修(ミニ研修)として、身近な感染症や健康管理に係る内容で学習会を行った。

また、生活向上委員会が利用者向け研修を企画し『SNSの危険性』『車いすの交通安全』（7月）を開催した。

### （2）職員を対象とした研修

利用者に対する支援をより充実させることを目的として、内外の研修の機会を活用した。

外部研修では、福祉職員キャリアパス対応生涯研修「初任者研修」（2名）、「中堅職員研修」（6名）の受講を行った。また、外部講師を招いての職員研修として『介護職のストレスマネジメント』（東社協登録講師派遣事業）を開催した。『オムツの使い方』（メーカー企業の担当者を講師に迎えた研修会）などを開催した。

### （3）見学および外部からの研修などの受入れ

見学については、入所、通所、短期入所等の利用問合せのケースは26件であった。また、特別支援学校や都立高校からの実習受入の相談、問い合わせも寄せられている。

資格取得のための実習受入では、社会福祉士養成課程の実習受入（4～5月、10月）、介護福祉士養成課程の実習受入（8～9月、2～3月）に実施することができた。

### （4）その他

福祉機器やレク機材等のデモ機試用体験などを、メーカーや販売店の協力を経て、随時実施した。利用者や職員が実際に体験しながら、導入を検討している機器もある。

## 9 苦情解決・福祉サービス第三者評価

自立ホームでは、利用者からの問題提起や要望などを積極的に受け止めるため、全入所利用者や職員で構成する「援助拡大会議」の中で議論を尽くすことにより、問題の解決に取り組んでいる。

また、苦情解決については、より透明性と客観性を持たせるため、苦情受付窓口の設置および第三者委員による毎月1回の苦情相談日の設定などの体制で実施した（苦情件数は0件）。第三者委員は、苦情解決ばかりでなく、利用者の方が気軽に話することができる相談相手ともなっている。（苦情解決第三者委員：山田卓評議員）

福祉サービス第三者評価については、令和5年1月から2月にかけて調査が行われ、報告書がまとめられた。

評価機関：一般社団法人みんなの力（八王子市千人町2-14-1）

## 1.0 事故防止（ヒヤリハット・事故の報告）

### （1）東京都および八王子市へ報告した事例（4件）

- ・利用者への誤与薬の事故（5月） ・利用者食事中の異物誤飲事故（5月）
- ・新型コロナウイルス感染症 陽性者の発生について（8月2件）

※新型コロナウイルス感染症陽性者の報告については、報告基準が変更となり、下半期は報告を要する状況はなかった。

### （2）ヒヤリハット・事故報告

利用者の生活支援にあたって、日常的に「気づきのレポート」として活用すると共に、ヒヤリハット・事故報告書による事例分析と再発予防に取り組んでいる。

（令和4年度 事故報告：94件 ヒヤリハット：41件）

事故報告（①落葉等服薬関連 ②転倒、座位不安定 ③機器（カニューレ、ウパック等）の取り扱い 他）  
ヒヤリハット（①機器（カニューレ、ウパック等）の取扱い ②立位、座位の際の不安定 ③予定した援助に時間通りに入れなかった 他）

## 1.1 地域の皆さまとの活動・ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルスの影響もあり、ボランティアの受け入れ等を控えている。

地域向けの取り組みとしては、地域の子どもの会の資源回収への段ボールの提供や、設備や場所の提供（掲示板、町会防災倉庫の設置）を行っている。

町内会からは、敬老の日にあたり、75歳以上の利用者4名に、お祝いをいただいた。

また、3月の電気設備工事に伴う停電の際には、防災体験を企画し、町内会より機材を借用して「炊出し体験」を実施することができた。

## 1.2 利用者への虐待防止の取り組み

平成28年12月20日の全体会議で策定した「はばたきの郷 八王子自立ホーム障がい者虐待防止対応マニュアル」に基づいて取り組んでいる。

虐待防止のための自己チェックシートの活用をはかると共に、その結果について主任会議、援助会議などで集約している。

さらに生活支援員のグループワークなどにフィードバックしながら、職員間の意見交換の機会を活用し、虐待防止の意識醸成を図ってきた。

## 1.3 「八王子自立ホーム人材育成プロジェクトチーム」の取り組み

職員を安定的に確保し、組織体制を強化していくこと、さらに、将来の中長期的な視野に立って人材を育成していくことを目的としている。

職員定数に対し過員配置をしているものの、職員の確保については困難な状況が続いている。

人材育成では、新人職員の研修で、メンター制（助言者制）の機能を高めるため、実施表（研修記録）ノートの工夫し、本人の理解を進めることと合わせ、研修の状況を関係職員が共有できるようにすることを目的としている。

外部研修の受講計画は、オンライン型、WEBオンデマンド方式の研修が増え、各自が受講しやすい環境である。

- 1.4 「利用者の生活を支える援助支援のあり方改善プロジェクトチーム」の取り組み  
「利用者の生活を支える援助支援のあり方改善プロジェクトチーム」として援助業務の様々な課題に取り組んでいる。

#### 1.5 新型コロナウイルスの影響と感染予防の取り組み

過年度から引き続き、日常的に感染防止対策の徹底に取り組んでいる。

##### (1) 感染症予防対策

感染症予防に基づく、手洗い、うがい、マスクの着用、手指の消毒、テーブル・手すり・ドアノブ等の消毒、検温、1日2回の一斉換気を実施。

[ 新型コロナウイルス感染予防対策 ]

- ① 不要不急の外出の自粛
- ② 利用者家族等の面会自粛と時間の厳守
- ③ 施設への来訪者（業者・宅配・配達等）の時間の制限
- ④ 通所利用・短期入所利用の休止
- ⑤ 体調不良者、感染等が疑われる場合の職員の出勤自粛、自宅療養
- ⑥ 利用者の日中活動の実施規模や方法の工夫、休止

##### (2) 利用者、ご家族、ホーム関係者への連絡（通知）

「東京都のリバウンド警戒期間における自立ホームの今後の対応について」（令和4年4月28日）

「リバウンド警戒期間の終了と自立ホームの今後の対応について」（令和4年5月27日）

「東京都のリバウンド警戒期間の終了と自立ホームの今後の対応について」（令和4年6月27日）

「新型コロナウイルス感染症「陽性者」の発生の報告と今後の対応について」（令和4年8月5日）

「令和4年度 家族連絡会の中止のお知らせ及び「はばたき文化展」延期のお知らせ（令和4年11月25日）

「政府によるマスク着用の考え方に伴う当面の新型コロナウイルス感染症対策について」（令和5年3月17日）

上記のお知らせを送付し、新型コロナウイルス感染症に関する情報提供と、それを踏まえた面会等の自粛と感染予防対策の徹底をお願いし、ホームの取り組みへの理解を求めた。都内の感染状況を考慮すると、外出や面会等の規制はより期間をとった対応が必要と判断した。

##### (3) PCR検査の実施

- ① 東京都による障害者支援施設等の従業員に対するPCR検査の重点実施に基づく、施設従業員のPCR検査を毎週実施。（週1回）

また、東京都による集中的・定期的検査施設従業者への抗原検査キットによる定期検査を実施。（週1～2回）

- ② 東京都による「令和4年度障害者支援施設等における新型コロナウイルス感染症対策強化事業」を活用し、全利用者（入所・通所・短期）を対象としたPCR検査を実施した。（5月・9月・12月・3月）

(4) 新型コロナウイルスワクチン接種

政府の方針に基づき、ワクチン接種を実施した。

回数	実施時期	方法	対象者
4回目	8月	施設で集団接種	利用者等
5回目	12月	施設で集団接種	利用者等

- ・施設での集団接種は「クリニック グリーングラス」へ依頼し実施
- ・従業者については、居住自治体からの案内に基づく、一般接種会場での接種に移行

(5) 新型コロナウイルスの感染状況

① 本人、家族がPCR検査・抗原検査を受診したケース (14件12名)

本人もしくは家族等に体調不良者があり、PCR検査等を受診した場合は、症状の有無にかかわらず結果が判明するまでの間、管理者の指示による自宅待機とした。なお、今回のケースでは全員陰性であった。

② 家族に新型コロナ陽性者あり、濃厚接触者として自宅待機 (7件7名)

政府の示すガイドラインに基づき、自宅待機を実施

③ 本人が新型コロナウイルス陽性 (13件13名)

うち半数はホームで実施する定期検査で判明し医療機関等を受診したケースである。陽性者政府の示すガイドラインに基づき、自宅療養等を実施

※いずれの場合も、勤務へ復帰するにあたっては抗原検査キットを用いた再検査を実施した。



(表1) 援助実施状況

## 援助実施状況

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
起床・就寝	就寝・起床介助	29	30	30	30	30	29	28	27	27	28	27	28	・入所+短期入所	
	寝返り	14	15	15	15	15	15	15	14	14	15	14	15	寝返り、トイレ対応、おむつ・パット交換 等	
排泄	排尿	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	22	22		
	排便	24	25	25	25	25	24	23	22	22	23	22	23		
	ガーテル	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4		
	その他※ おむつ等	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	
入浴	介護浴室	男	5	12	6	3	5	3	3	3	4	4	3	3	
		女	9	9	7	5	9	10	6	7	9	8	6	6	
	機械 (ストリーパー)浴	男	6	10	9	9	6	8	8	7	7	9	10	10	
		女	12	7	10	8	8	9	8	7	11	9	9	9	
	機械 (チェア)浴	男	6	8	8	7	11	8	8	9	7	6	4	4	
		女	6	1	1	1	2	1	2	1	5	1	2	2	・利用者状況に応じて複数の浴室を使用
その他															
食事	全介助	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7		
	部分介助	7	7	7	7	7	7	7	6	6	7	7	7		
	見守	17	17	17	17	17	16	15	15	15	15	14	14		
	その他	0	0	0	0										
健康管理	通院(療託医)	5	4	4	4	4	28	27	26	27	27	27	27		
	通院(療託医以外)	15	15	13	15	18	30	14	7	13	11	5	11		
	緊急通院(等)	1	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	0		
	往診(泌尿器科)	29	30	27	29	30	30	27	27	26	29	29	27		
	往診(ドクターズ)	51	61	73	78	74	89	85	85	115	85	80	65		
	訪問科(あじさい歯科)	5	4	5	5		5	4	3	4	5	7	7		
	訪問科(ひまわり歯科)						1	0	1	1	0	0	1		
	入院	1	1	4	4	3	1	2	1		1	0	0		
	服薬	27	29	29	29	29	29	28		26	27	27	27		
	新型コロナウイルス(4回目)					24			25						
	インフルエンザワクチン								26						
	利用者健康診断		29												・利用者健康診断(4月)
生活環境	居室清掃・ケア	29	30	30	30	30	28	28	29	27	27	27	27		
	洗濯	29	30	30	30	30	28	28	29	27	27	27	27		
	その他														
共同活動	テーマ別 活動数	4	4	4	9	3	3	7	7	6	5	3	3	下欄参照	
	参加者数	29	29	29	40	28	28	28	28	27	26	26	26		
	その他														
利用者数 (登録者数)	施設入所	29	29	30	30	30	29	28	27	27	27	27	27	・月初の登録者数	
	生活介護(通所)	37	39	41	41	40	39	38	37	37	38	38	38		
	短期入所	2	3	5	6	3	3	3	6	7	4	5	6	・短期入所は各月の利用人数	

## 主な共同活動とその参加状況

(数字は参加者数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月						
活動名	開所記念日	28	いちご祭り企画	28	訪問販売(ぶくまる)	30	開所記念日(昼食会)	28	全国うまいものめぐり	26	全国うまいものめぐり	28
	全国うまいもの(福井)	27	全国うまいもの(神奈川県)	29	全国うまいものめぐり	29	全国うまいものめぐり	30			月見 食事会	28
			端午の節句	29	映画鑑賞会	29	七夕	29				
							土用丑の日	31				
							総合防災訓練	28			ハコソウ・カマ	8
	陶芸クラブ	5	陶芸クラブ	5	陶芸クラブ	5	陶芸クラブ	5	陶芸クラブ	5	陶芸クラブ	5
	絵画クラブ	9	洋裁クラブ	8	絵画クラブ	8	絵画クラブ	8				
							市民センター(イ・ビス)	3				
	リラックスタイム	15	リラックスタイム	15	リラックスタイム	15	リラックスタイム	15	リラックスタイム	15	リラックスタイム	14
		5活動	6活動	6活動	9活動	3活動	5活動					

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
活動名	魚釣り企画	27	訪問販売	25	クリスマス&忘年会	27	おせち会食	26	節分	25	ひなまつり	27
	全国うまいものめぐり	27	全国うまいものめぐり	26	クリスマス会食	27	新春の集い	26			停電防災体験	27
	ポッチャ	6			ポッチャ	5						
	魚釣り企画	27										
	陶芸クラブ	5	陶芸クラブ	5	陶芸クラブ	5	陶芸クラブ	5	陶芸クラブ	5	陶芸クラブ	8
	絵画クラブ	8	絵画クラブ	8	絵画クラブ	8	絵画クラブ	8				
	リラックスタイム	14	リラックスタイム	13	リラックスタイム	13	リラックスタイム	13	リラックスタイム	12	リラックスタイム	12
	7活動	5活動	5活動	4活動	3活動	4活動						





(表2) 建物管理関連

項目 月	修繕(改修設備の入替・修繕)		簿冊		各種点検		その他	
	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容
4			25	厨房床清掃・害虫駆除	7	BV点検 自動ドア点検 消防設備点検	22	トイレ用換気扇設置(共用トイレ・廊下トイレ)
5	31	職員通用口ドア「カッター」修理	23 12 20	厨房床清掃・害虫駆除 床清掃 館内マット交換	1 11 13	BV点検 車両1年点検(11:00~) 受変電設備点検	31	事務机(1台)新品
6	9 14 21 30	介置袋シャワー給湯ミキシング交換修理 食堂三角ローテーブルスクリーン取付 介置袋排水管清掃 居室内ドア取替え工事(112号室)	27 20~22	厨房床清掃・害虫駆除 敷地内除草・中低木、苗木選定 館内マット交換	1 13	BV点検 車両12か月点検(グンツボルト) 受変電設備点検	9	快談ソフトウェア(勤務表ソフト) 操作説明
7		なし	5 15 14 25	受水槽清掃(年次) 館内マット交換 床清掃 厨房床清掃・害虫駆除	7 7 12	BV点検 車両5か月点検(日産ががー) 車両6か月点検(年次点検)停電実施 受変電設備点検(年次点検)停電実施	なし	
8	9 22 30	共用部エアコン修理(室内機2カ所) 食堂三角ローテーブル出入口補助取付	22	厨房床清掃・害虫駆除 116号室床清掃(クワス)	2 18 30	BV点検 自動ドア点検 受変電設備点検(年次点検)停電実施 機械設備点検(雑井医療器)	30	1F女子更衣室 エアコン取付工事
9	30	ナースコールP.H.S端末入替(2台)	8 26	床清掃 厨房床清掃・害虫駆除	1 3 3 13	BV点検(BVパナリ交換) 受変電設備点検 パナース(12か月点検) VOXX(6か月点検) 業務用洗濯機修理	なし	
10	28	ナースコール用P.H.S修理(再設定)	24	厨房床清掃・害虫駆除	6 6 11	消防設備点検 ペランダ・テラス高圧洗浄 BV点検	20	停電時におけるBCF運用等支援事業 施設診断 (11/8 診断結果のフィードバック)
11			5 17 28 28・29	館内マット交換 床清掃 厨房床清掃・害虫駆除 敷地内除草	4 11 28	GIP点検(1F廊下系統・事務所系統) 受変電設備点検 車両タイヤ交換(夏→冬)	なし	
12	8 29	天井走行リフト移設(116→106) 空調修理(2F廊下)	26 27	厨房床清掃・害虫駆除 館内マット交換	1	自動ドア点検(オートロック設定変更)	なし	
1			23 12	厨房床清掃・害虫駆除 床清掃	10 18 19	受変電設備点検 居室内マット点検(7台) E.V点検	13	2F共用トイレ 手すり工事
2	7	非常用発電機設置、吸気フィルター交換	27	厨房床清掃・害虫駆除	1	受変電設備点検 居室内マット点検(7台) E.V点検		
3	8 31	厨房レイアウト変更工事 (食器洗浄機の設置・シンク交換)	9 27	床清掃 厨房床清掃・害虫駆除	1 1 18	車両12か月点検(パナース) 車両6か月点検(VOXX)	13~31	太陽光パネル発電設置工事 停電(3/29)





10	11・18 24 4.11.17.24.31	ボッチャ(台町市民センター) 魚釣り企画(生け簾でのマス釣り) 生園うまいものめぐり 陶芸クラブ 絵画クラブ 運動活動・ぶらっと散歩 月・水・金・土・日 PT	6・7 6・7 17・18 26・27 12・19・28	「国際福祉機器展」見学 キリカス対応研修(中堅) 職員1名 キリカス対応研修(中堅) 職員1名 キリカス対応研修(中堅) 職員1名 新人職員研修(身体・知的・精神について)	25 25 30	防災訓練(避難訓練) 八王子市総合防災訓練(情報伝達訓練)	14	嘱託医訪問診療	0 21 5	福祉会計士セミナー会計指導(Box777)、E777) 若情相談日 訪問理美容
	29 9.15.21.29 18・25 24 月・水・金・土・日 8・23	訪問販売(ふくまる) 陶芸クラブ 絵画クラブ 全国うまいものめぐり(京都) 運動活動・ぶらっと散歩 月・水・金・土・日 PT	7・8 16・17 29・30	キリカス対応研修(中堅) 職員1名 キリカス対応研修(中堅) 職員1名 キリカス対応研修(中堅) 職員1名	22 22	防災訓練(部分訓練) 屋上点検 防災委員会	18	嘱託医訪問診療	- 延期 3 15・17 25	福祉会計士セミナー会計指導(Box777)、E777) 若情相談日 訪問理美容 イブニング予防接種 あじさい歯科
11	15 23 6 22 月・水・金・土・日 14・21	クリスマス&忘年会 クリスマスメニユー ボッチャ(市民センター利用) 陶芸クラブ 絵画クラブ 運動活動・ぶらっと散歩 月・水・金・土・日 PT	20 26・27 11月~12月	福祉サービスマニユー(利用者・職員対象) 福祉レク機器*モストロ* (7777777777) 福祉レク機器*モストロ* (第一異席)	20 20	防災訓練(総合訓練) 屋上点検 (火災発生→避難初期消火→避難誘導) 防災委員会	9	嘱託医訪問診療	- 15 7 12 23	福祉会計士セミナー会計指導(Box77777)、E77777) 若情相談日 訪問理美容 新型コロナワクチン(5回目) 訪問歯科(あじさい歯科/ひまわり歯科)
	1 17 10.15.23.31 月・水・金・土・日 9・31	【12/29~1/3 年末年始体制】 元旦(昼食:おせち会食) 新春の集い(海鮮お祝い) 陶芸クラブ 絵画クラブ 運動活動・ぶらっと散歩 月・水・金・土・日 PT	17	福祉サービスマニユー(利用者面接職*ZOOM) (職員自己評価アンケート)	24 24	防災訓練(総合訓練) 屋上点検 (火災発生→避難初期消火→避難誘導) 防災委員会	13	嘱託医訪問診療	- 20 4 20	福祉会計士セミナー会計指導(Box77777)、E77777) 若情相談日 訪問理美容 訪問歯科(あじさい歯科/ひまわり歯科)
12	3 7.14.20.28 月・水・金・土・日 9・31	餅分 陶芸クラブ 絵画クラブ 運動活動・ぶらっと散歩 月・水・金・土・日 PT	21 7 14	福祉会議ミニ研修(内部研修) 『理想的な爪の切り方』 福祉サービスマニユー(総務見学(総務)) 事業防犯調査	21 21	防災訓練(総合訓練) 屋上点検 防災委員会	24	嘱託医訪問診療	- 17 1	福祉会計士セミナー会計指導(Box77777)、E77777) 若情相談日 訪問理美容 訪問歯科(あじさい歯科/ひまわり歯科)
	3 7.14.21.27 9・27 月・水・金・土・日 6・21	ひなまつり会食 陶芸クラブ 絵画クラブ 運動活動・ぶらっと散歩 月・水・金・土・日 PT	28	福祉会議ミニ研修(内部研修) 『デジタル認知症』	28 29	総合訓練(避難訓練) (火災発生→通報・初期消火・避難誘導) 防災委員会 停電時を利用した防災体験活動	24	嘱託医訪問診療	- 17 1	福祉会計士セミナー会計指導(Box77777)、E77777) 若情相談日 訪問理美容 訪問歯科(あじさい歯科/ひまわり歯科)

(令和4年度)

